

沿線風景

津風呂湖の北岸をほぼ湖岸線沿いにたどり、四季の変化と水辺の魅力を楽しむコース。入野峠から津風呂川へ下り、津風呂湖の東側から北岸にわたり、出入りの多い湖岸線をたどってゆく。中央の吊り橋を過ぎ、湖岸の雑木林の中を進む。湖には、春から秋にかけて遊覧船やボートが浮かび、湖岸もサクラ・ツツジ等の花々や秋の紅葉が美しい。湖の北端近くに、子どもも向きの遊具公園「木の子広場」が整備されている。ここからみかえり橋をわたって対岸へ。すぐに平尾の集落に至る。

津風呂湖畔をめぐるみち

木の子広場
 名物は全長50メートルのロングライド。料型のアスレチックコースが、休日には家族ついで賑わっています。年中無休

奈良コースの所要時間
 約2時間40分
 公共交通手段なし

起点までの最寄駅と所要時間
 奈良交通バス「津風呂湖北口」バス停から
 近鉄吉野線「上市」駅まで15分

奈良コースの距離
 7.8km

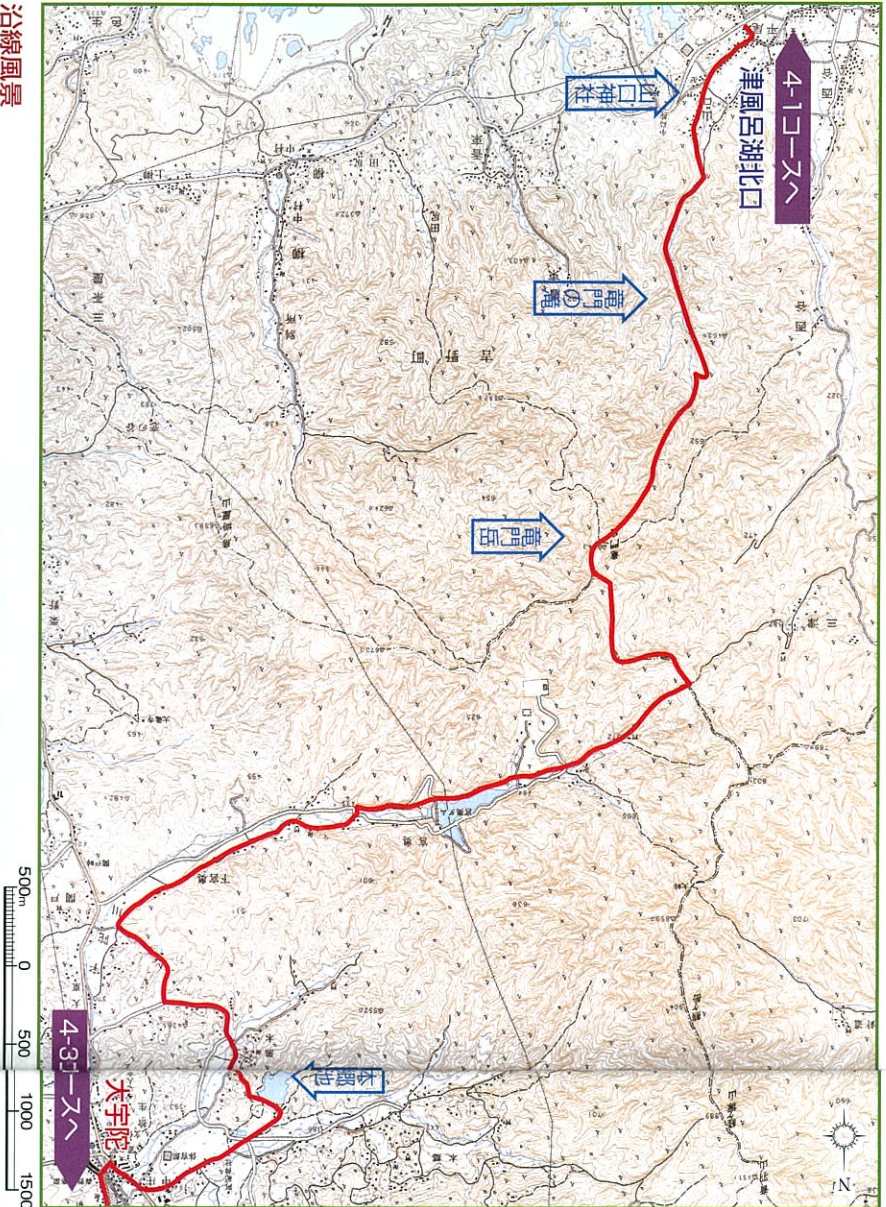
終点から最寄駅までの所要時間
 奈良交通バス「津風呂湖北口」バス停から
 近鉄吉野線「上市」駅まで15分

コースガイド

津風呂湖は、周囲32キロメートル、広さ 150ヘクタールの灌漑用ダムで、1963年（昭和38年）の完成。湖岸は、春のサクラの花、秋のカエデの紅葉が美しく、ハイキングやサイクリングに楽しめます。湖面は、遊覧船やボート遊びの他、コイ・ヘラブナ・フナツクリを目的とした釣りも盛んである。

大海人皇子（後の天武天皇）の吉野挙兵（壬申の乱）の道筋の「つぎ」にあたる土地とされている。





沿線風景

平尾の集落から竜門岳に登り、宇陀川上流部の宮奥谷を下って大宇陀町に至る。山口から竜門川に沿って山道を登ると、スギの巨木や山の神の祠があり、小滝や竜門滝が涼を呼ぶ。竜門寺跡を過ぎると巨岩が点在するようになり、竜門岳頂上に着く。小さな祠があり、見晴しはあまり良くないがサクラの古木があつて花時は美しい。北へ急坂を下り、稜線伝いに杉林の中を歩いて三津峠から宮奥谷下りる。谷では宮奥ダムからの眺望が利き両岸には、公園もある。さらに宇陀川に沿って下り、関戸からは北西に転じて黒木から本郷溜池に入る。池からは、田園風景の中を、かきろひの丘万葉公園を経由して大宇陀へ至る。

竜門岳かきろひの丘をたずねるみち

本郷の龍桜
後藤家の屋敷跡にある樹齢三百年とも言われる、幹周約3m、高さ約1.3mの早草な桜垂れ桜です。

奈良県コースの所要時間
約6時間

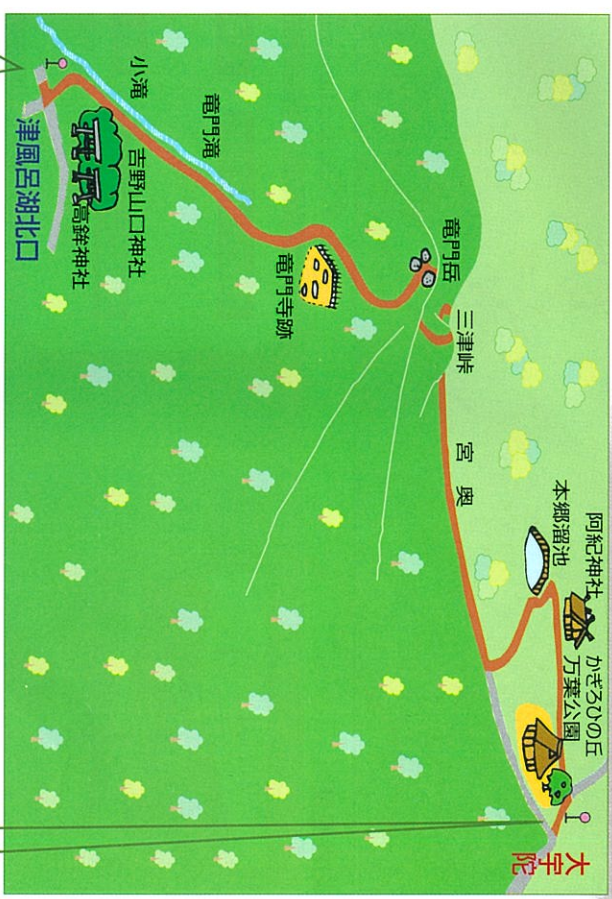
起点までの最寄駅と所要時間
奈良交通バス 近鉄吉野線「上」駅から「津風呂湖北口」バス停まで 15分

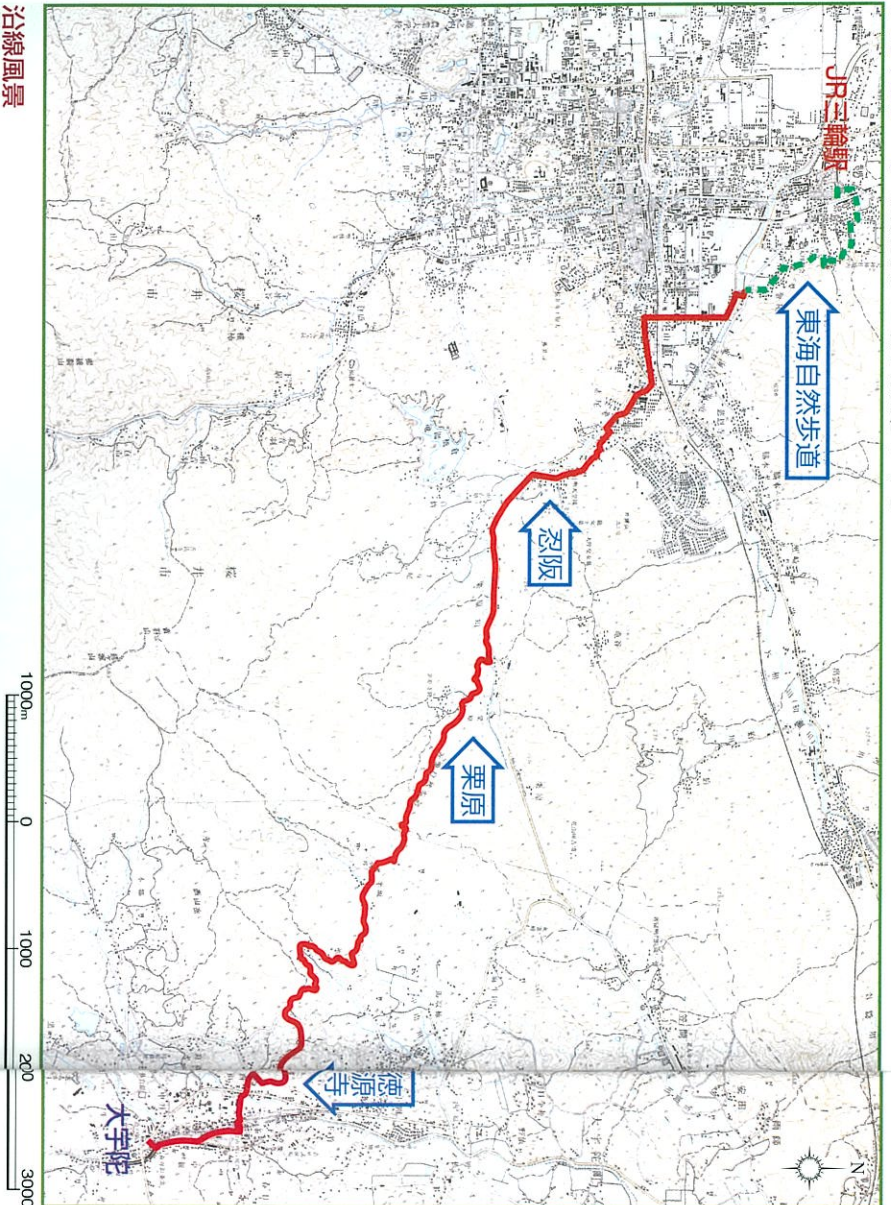
終点
奈良交通バス「大宇陀」バス停から近鉄大阪線「榛原」駅まで20分

奈良県コースの距離
12.0km



- コースガイド**
- 吉野山口神社と高銚神社が山口の集落に並び立っている。高銚神社は、昔は山頂にまつられていたという。天然記念物の群生がある。
 - 竜門滝は一の滝と二の滝があり、二の滝は高さ24メートルで水量豊か。芭蕉の句碑が立っている。
 - 竜門寺跡は、奈良時代から室町時代にかけて築えたといわれる寺の遺構。
 - 竜門岳は標高904メートル、三角形の美しい山。
 - 阿紀神社は、垂仁天皇の皇女、倭姫命が天照大神をまつたのが起源地。能舞台がついている。
 - かきろひの丘万葉公園は、万葉集にある柿本人麿の歌を対象に、万葉のロマンを想ふ公園として整備されている。





万葉のふるさと・阿騎野（大宇陀）から栗原・忍阪を経て、三輪山山麓の東海自然歩道に連絡するコース。大宇陀町の中心部は旧松山町・織田氏の城下町で、江戸時代の西口関門（国史跡）、森野旧薬園（国史跡）を始め、古い町並み景観がよく保存されている。町並みを出ると徳源寺の裏山から杉林の中の山道を北西に向かう。峠をこえて桜井市に入り、栗原では国道166号線に沿った歩道を歩く。忍阪で再び古い町並みに入り、桜井の市街地の東部を北上して初瀬川（大和川）をこえ、既存の東海自然歩道に入る。三輪山西麓の大神神社を経て、JR三輪駅に至る。

沿線風景

阿騎野、三輪山万葉のみち

沿線風景

大神神社
風のまはるは大和盆地の東側に位置する三輪山は、高さ467m、周囲16km、面積360ha。

奈良県コースの所要時間
約5時間30分

奈良県コースの距離
11.0km

起点までの最寄駅と所要時間
奈良交通/近鉄大阪線「藤原」駅から「大宇陀」/バス停まで20分

終点
JR桜井線「三輪駅」

コースガイド

森野旧薬園は、享保14年（1729年）に開かれた薬草園で、今も250種の薬草が栽培されている。

松山西口関門は、江戸時代に建設されたもの。壁以外すべて黒塗りのので、黒門とも呼ばれている。

徳源寺は織田松山藩の菩提寺。裏山に、初代藩主信直（信長の次男）等4代の五輪塔がある。

栗原寺跡は奈良時代の寺院跡。塔や金堂の跡と推定される礎石が残っている。

天王山古墳は粟原寺から西に伸びる丘陵地にあり、3段築造の方墳。

舒明天皇（第34代、飛鳥時）陵は、忍阪集落の東端にある上丁の方墳。さらに東に、鏡女王（藤原鎌足夫人）と大伴皇の皇女（舒明天皇の皇女）の墓もある。

